

事務連絡第 4498 号
令和 2 年 11 月 5 日

各省各庁会計課長等 殿

財務省主計局司計課長

令和 2 年度における繰越しについて

新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴う繰越しに当たっては、下記のとおり弾力的な対応を行っております。

ついては、令和 2 年度における新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴う事故繰越手続きにつきましては、(別紙)によることといたしますので、よろしくお願い致します。

なお、繰越事務の手続きに当たっては、感染拡大防止等の観点から、資料の事前送付やヒアリングの省略等について、必要に応じて各財務局等と調整いただくとともに、本件について、貴管下職員及び繰越事務を委任している各自治体等に対し、周知徹底方よろしくお取り計らい願います。

記

- 感染拡大防止の観点から積極的に事業・工事・納期の延期、開催の自粛等を行ったものを含め、繰越事由として広く取り扱うとともに、詳細な証明等を要しない。
- 延期後の事業完了時期等の設定が困難であっても翌年度に実施できるものとみなす。

以上

(別紙)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴う 事故繰越の事務手続について

1. 対象事業（経費）

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施した対応（事業・工事・納期の延期、開催の自粛等を行ったもの）に伴い事故繰越を行う事業（経費）

2. 理由書

通常、事故繰越の申請に当たっては、その性質等に照らし、事業概要、事故繰越に至った経緯、今後の見通し、その他参考となる事項を理由書に記載しているところであるが、上記対象事業（経費）については、別添の様式（別紙１）により提出することとすることができることとする。

3. 理由書における事故事由

「新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴い、〇〇〇せざるを得ず、年度内に事業を完了することが困難となったため」等と記載する。

（注）事業（経費）の内容により適宜変更して差し支えないが、簡潔に要因を記載すること。

4. 審査表

審査表の提出は省略とする。

5. 財務局等の審査に必要な資料

通常、財務局等の審査に必要な資料として作成していた事業の概要、工程、位置図、契約、事故要因等に関する資料の提出は省略とする。

ただし、支出負担行為が確認できる資料（該当部分）を添付するものとする。

6. 財務局等ヒアリング

財務局等のヒアリングは原則として行わない。

7. その他

- (1) 各省各庁は、繰越手続に関する事務を委任している各自治体等に対して、事務手続が円滑に行われるよう必要な助言等を行うこと。
- (2) 申請に当たっては、法令の要件に変わりはないことに十分留意し、「支出負担行為後に生じた避け難い事故」の要件を確実に確認の上、繰越申請をすること。
- (3) 新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴う事故繰越以外の事故繰越については、当該（別紙）に係る手続きについては適用されないことに留意する。

(参考)

➤ 主な事故事由

(新型コロナウイルスの感染拡大による影響に伴う事故事由)

- ・ 補助事業者において〇〇が生じたことにより想定以上の期間を要し、事業計画を変更せざるを得ず、
- ・ 〇月に関係協力機関と協議した結果、当該イベントの開催にあたって支障がない程度に感染症が収束していないことから、感染症防止に万全を期すため開催を来年度に延期せざるを得ず、
- ・ 受託事業者における技術者確保が難航したことにより想定以上の期間を要し、納期を延期せざるを得ず、
- ・ 海外現地調査に当たって、海外現地政府関係機関の許可に想定以上の期間を要したことにより、調査完了時期を延長せざるを得ず、

等

以下に沿って記入をお願いします。

1

事故繰越しの概要について記載する

(①を記入)

2

前年度に明許繰越し(翌償)をした事業である

(②を記入)

3

支出負担行為は実施済みである

(③を記入)

4

事故が生じた年月日は③より後である

(④を記入)

5

事故事由

(⑤を記入)

6

事故事由は当該年度中の事由である

7

計画変更後の事業は翌年度内に終了する見込みである

(⑥を記入)

8

当該様式による対象経費であるか等のチェック済みである

(チェック)

事故繰越しをすることは適切である

事故繰越しを必要とする理由書

支出負担行為担当官

①事故繰越しの概要

所管・会計

組織・項

「目」の名称

「目の細分」の名称

事項名

箇所名

所 在

事業内容

要繰越額

円

②明許繰越・翌償

明許(翌償)繰越しの承認番号及び承認年月日

事項名

箇所名

繰越事由

計画に関する諸条件

設計に関する諸条件

気象の関係

用地の関係

補償処理の困難

資材の入手難

試験研究に際しての事前調査又は研究方式の決定の困難

内容

その他の場合は事由を記入

③

支出負担行為年月日

年

月

日

支出負担行為済額

円

④

事故発生年月日

年

月

日

(~ 年 月 日)

⑤

事故事由

事由

箇所

⑥

当初の事業計画

年

月

日

~

年

月

日

明許繰越し(翌償)後の事業計画

年

月

日

~

年

月

日

事故繰越し後の事業計画

年

月

日

~

年

月

日

☐ 本件は、新型コロナウイルス感染症の影響による事故繰越であることから、令和2年〇月〇日付事務連絡第〇〇号に基づき、本様式により申請するものである。

☐ ・支出負担行為の実施が確認できる書類が添付されているか。

連絡先

氏名

担当

明許(翌償)繰越し時の「箇所別調査及び理由書」を添付する場合は記入不要です。

以下に沿って記入をお願いします。

1

事故繰越しの概要について記載する

(1)を記入)

2

前年度に明許繰越し(翌償)をした事業である

(2)を記入)

3

支出負担行為は実施済みである

(3)を記入)

4

事故が生じた年月日は③より後である

(4)を記入)

5

事故事由

(5)を記入)

6

事故事由は当該年度中の事由である

7

計画変更後の事業は翌年度内に終了する見込みである

(6)を記入)

8

当該様式による対象経費であるか等のチェック済みである

(チェック)

事故繰越しをすることは適切である

【記載例】事故繰越しを必要とする理由書

支出負担行為担当官 ○○局○○課会計課長

①事故繰越しの概要

所管・会計	○○省 一般会計	組織・項	○○本省 ○○事業費
「目」の名称	○○事業費	「目の細分」の名称	○○事業費
事項名	第○回○○会合開催業務		
箇所名	所○○		
所 在			
事業内容	○○に関する研究の成果を○○政策に活かすことを目的として行われる「第○回○○会合」の開催を効率的に実施するため、運営支援業務について委託を行うもの。		
要繰越額	○○, ○○○, ○○○円		

②明許繰越し・翌償

明許(翌償)繰越しの承認番号及び承認年月日						
事項名						
箇所名						
繰越事由	計画に関する諸条件	設計に関する諸条件	気象の関係	用地の関係	補償処理の困難	資材の入手難
	内容		その他の場合は事由を記入			

明許(翌償)繰越し時の「箇所別調査及び理由書」を添付する場合は記入不要です。

③

支出負担行為年月日	R2 年 5 月 1 日
支出負担行為済額	○○, ○○○, ○○○円

補助事業は当初の支出負担行為年月日を、直轄事業は、最終的な支出負担行為年月日(変更契約日等)を記入して下さい。

最終的な支出負担行為済額全額を記入して下さい。

④

事故発生年月日	R3 年 2 月 1 日 (~ 年 月 日)
---------	--------------------------

事故の要因が複数日にわたる場合は、事故が生じた期間を記入して下さい。

⑤

事故事由	事由	新型コロナウイルス感染症の影響により、2月に関係協力機関と協議した結果、当該会合の開催にあたって支障がない程度に感染症が収束していないことから、感染症防止に万全を期すため開催を来年度に延期せざるを得ず、年度内に事業を完了することが困難となったため。
	箇所	

「主な事故事由」を参考に支出負担行為後に発生した当該年度中の事故事由について具体的に記入して下さい。

事故が生じた箇所を記入して下さい。(事故が特定の箇所に係るものでない場合は記入不要です。)※記載に代えて地図の添付も可

⑥

当初の事業計画	R2 年 5 月 1 日 ~ R3 年 3 月 31 日
明許繰越し(翌償)後の事業計画	年 月 日 ~ 年 月 日
事故繰越し後の事業計画	R2 年 5 月 1 日 ~ R4 年 3 月 31 日

明許(翌償)承認時の「事業完了予定年月日」を記入して下さい

翌年度内に事業が終了見込となっているかを確認して下さい。

当該様式による申請の対象経費であることを確認の上、✓を入れてください。



本件は、新型コロナウイルス感染症の影響による事故繰越であることから、令和2年〇月〇日付事務連絡第〇〇号に基づき、本様式により申請するものである。



・支出負担行為の実施が確認できる書類が添付されているか。

連絡先	○○局○○課
TEL	012-345-6789
担当	財務 太郎